

1. 件名：北海道電力株式会社泊発電所の事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日時：令和3年2月1日 13:35～15:00

3. 場所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

平野室長補佐

(以下、テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、落防災専門官、宮地防災専門官

北海道電力株式会社

原子力事業統括部 業務グループリーダー 他12名

5. 要旨

北海道電力株式会社から、令和2年11月27日に実施した泊発電所の原子力事業者防災訓練を踏まえ、主にERCプラント班との情報共有に係る改善に向けた取り組みについて、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、主に以下を伝えた。

- ・単に訓練において抽出された課題に限定せず、北海道電力株式会社考えるあるべき姿とのギャップについても、改善に向けた取り組みが必要ではないか。
- ・改善に向けた取り組みの全体像を示すこと。そのなかで、短期的、中長期的な取り組みのそれぞれの達成目標を整理し、具体的な改善対策と関連付けを明確にすること。
- ・ERCプラント班に対応するERC対応チームが機能するためには、当該チームを統括するリーダーの役割が重要と考える。当該リーダーの役割を具体的に定義するとともに、その教育のありかたについて検討すること。

北海道電力株式会社から、本日の面談を踏まえ、今後の改善に向けた取り組みを再整理し、改めて説明するとの回答があった。

6. その他

配布資料

資料1「2020年度泊発電所原子力防災訓練における訓練課題対応を踏まえた取り組みについて」